



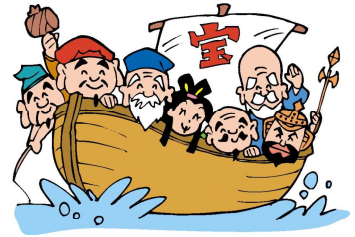
揖斐川中だより

令和2年1月8日
揖斐川中学校
第12号

令和元年度の最高のフィナーレに向かうための1月に…

校長 折戸 克明

新しい年がスタートしました。令和への改元からはや8カ月が経過し、令和2年の幕開けとなりました。今年も何かとご迷惑をおかけしたり、ご理解やご協力をお願いするようなことが多々あることかと思いますが、保護者の皆様方には、昨年までと同様に厚いご支援を賜りますよう、どうぞよろしくお願いいたします。



さて、本日の始業式で、私は子どもたちに以下のような話をさせてもらいました。

さて、いよいよ3学期のスタートです。3学期は1・2学期と比べるととても短く、アツという間に終了を迎えてしまうこととなりますが、気持ちを入れて毎日を大切にすれば、誰にとっても貴重な経験と価値ある思いを獲得することができる日々となります。その価値ある思いとは、「この仲間と一緒に歩いてきて良かった」という言葉の本当の意味を実感できるのが、この3学期なのです。そして、この言葉の意味として皆さんに感じて欲しい思いは、「この仲間と共に、互いのことを気に掛け合い、大切に思い合いながら精一杯の歩みを重ね、共に成長することができ、そのことをお互いに喜び合うことができ、本当に良かった」という深い思いであって欲しいと願っています。

2学期の終盤から、2年生の実行委員会のリードにより考え始め、歩み出しを開始した伝統を引き継ぐ会は、まさにそのための会であり、令和元年度の揖斐川中の仲間として築き上げてきた財産を確認し、個々の自信や誇りを実感するための場としなくてはなりません。「何が自分を奮い立たせ、たくましくしてくれたのだろう」、「苦しいときに自分で乗り切ることができたのは、何のおかげだったのだろう」、「これまで頑張ってきたことは、これからの自分にどのように活かしていけるのだろう」などなど、自分の中に実感として刻み込んでいってください。

私はこれから皆さんに、「自らに問いながら、自らを磨き続ける」ことを大切にしてほしいということをお願いしていこうと考えています。2学期の終業式にも紹介をしたように、人生は選び取りの連続であることを念頭に置きながら、「今の自分は大丈夫なのか？」と自分に問い続けながら、「自分にとって何が大切かを見極め、より正しい選び取りをしながら立ち向かっていくことができた事実」を、みんなで積み上げていってほしいと願っています。そして、このことが「考動・協力・真価」という生徒会スローガンに込められた願いに迫ることであり、引いては、揖斐川中の3本柱である「思いやりの心」と「ひたむきな姿」からなる「自治の精神」の獲得に通ずると信じています。2月6日の伝統を引き継ぐ会、そして3月6日の卒業式では、伝えようとする者と、受け止めようとする者が互いに共鳴し合い、行動の奥にある思いの部分で確かに響き合いながら、よりたくましく成長・発展していくことができる、そんな揖斐川中学校を創り上げることを、今日からの40日間と53日間の目標としましょう。「考動・協力・真価」を求めながら、「自らに常に問いながら自らを磨き続け」、全校で「本物の自治」に挑む、このことは、これからもみんなのためのキーワードとして大切に続けながら、全校生徒の皆さんとすべての先生たちの力も結集し、「揖斐川中学校の伝統はこれだ」と言えるものを創り上げ、「この仲間と一緒に頑張ってきて本当に良かった」という思いで3学期の、そして中学校生活のフィナーレを迎えてくれることを、私は心から楽しみにしています。それでは皆さん、まだまだ寒い日が続きますが、寒さに負けることなく、今日から、また、一緒に頑張っていきましょう。

3年生にとっては目の前に迫った高校入試に挑むための準備も重要課題となりますが、そんな中でも「最高の仲間と共に歩むことができる貴重な40日間」にできること、そして1・2年生にとっては「次の学年に向けての確かな力を蓄えるために仲間との歩みを積み上げる53日間」にできるための1月の力強いスタートを、全校で目指します。

新入生入学説明会

12月18日(水)には「新入生入学説明会」を開きました。来年度の入学予定児童89名とその保護者の皆様をお迎えし、本校の紹介や学校生活の説明、本校1年生の授業見学などを実施しました。従来、職員が行っていた授業見学の引率や学校生活の説明を、本年度は2年生の生徒が中心となって行いました。

1年生の授業の見学の後、2年生の渾身の合唱『ヒカリ』を皮切りに、学校生活の紹介や部活動紹介など、新しい仲間を温かく迎えようという気持ちのこもった充実した説明会になりました。参加した来年度の新入生の皆さんも、中学校入学への不安な気持ちが和らぎ、来るべき中学校生活への期待をふくらませたにちがいありません。参加した各小学校の児童の皆さんの感想を次に紹介します。

今日、揖斐川中学校での説明会で、中学校での生活やロッカーの荷物のしまい方など日常のルールを知ることができました。また、学校では小学校と違うところがあると思いました。それは、私達よりもずっと静かで流れがスムーズな授業であること、発表の後の反応は生徒が呼びかけていたことです。このように、生徒一人ひとりが自立している中学生になるために、小学校生活の残りの約3か月で仲間どうしで教え合っって少しずつ中学生になれる姿をつくりあげていくことが大切だと思いました。

ぼくは、中学説明会で1年生の授業を見て、先生が黒板に書く字をすばやく静かに書いていてすごいと思ったし、話す時は遠くまで聞こえるような大きな声で話していてすごいと思いました。また、2年生の合唱では、一人ひとりが大きな声で歌っていたし、男子と女子のパートに分けて歌っているところがすごいと思いました。

授業見学では、「この教室ではこんなことができます」など分かりやすく教えてくれました。ろうかをゆっくりと歩いて、ついて行けるようにもしてくれました。授業では、グループに分かれて話し合いをしたり、先生の方に体を向けて話をしっかりと聞いていたりしていました。合唱では、男子と女子に分かれてハモリをしていて、とてもきれいな合唱でした。ぼくは、ハモリをしたことは少ししかないのですが、すごいと思いました。学校生活の紹介では、どんな一日を過ごしているのかが分かりました。部活動紹介では、たくさんの部活の発表を見て、入りたい部も決まりました。ありがとうございました。

私は、中学校の説明会で、中学生になったらいろんなことが新しくなり、他の学校の人と勉強したりするので、最初は不安や心配なことがたくさんあったけれど、今は中学校が楽しみになりました。また、中学校の校長先生が「中学校は心配だったりすることもあるけど、がんばろうね」と言ってくださったので安心しました。

私は、中学校では小学校ではやっていない活動が多いなと思いました。特に授業の中では一つ一つの進むスピードが速かったし、生徒達が授業を進めている感じがしました。また、給食では8分配膳をしたり、「残り姿」と言ってロッカーや靴箱の整頓をやったりしていると分かったので、残りの小学校生活で意識できるところは意識していきたいです。

このように参加した小学生の皆さんの感想を読んでいると、中学生の皆さんが今、当たり前のようにやっていることも、実は中学校生活の中で一人ひとりの努力や成長で身につけてきたことであることに改めて気づかされます。また、会の運営を行った中学生の皆さんにとっても有意義な会となったことと思います。

授業を公開した1年生の皆さん、中心となって会を運営した2年生の皆さんありがとうございました。